

福岡銀行「大橋支店」がリニューアルオープン

平成29年2月、福岡銀行は「大橋支店」(福岡市南区)をリニューアルオープンしました。今回は新店舗の概要についてご紹介します。

快適で心地よい広々とした店舗

福岡銀行は、平成29年2月13日(月)、大橋支店をリニューアルオープンしました。

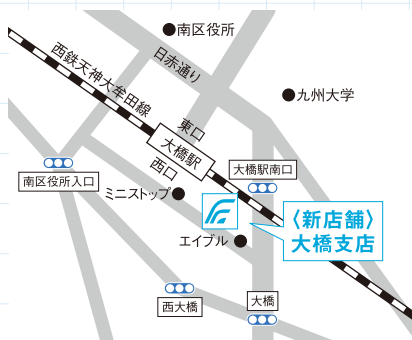
新店舗は、車椅子対応窓口や多目的トイレといったバリアフリー設備を充実させた他、ＡＴＭコーナーやロビーフロアの面積をおよそ2倍(仮店舗移転前の旧店舗比)に拡充するなど、お客様が快適で心地よく過ごしいただけるよう工夫を凝らしています。また、店舗3階には新たに「ふくおか証券大橋支店」が入居し、銀行・証券の共同店舗としてお客様により質の高い金融サービスをワンストップでご提供する体制も整えています。

更なる利便性の向上を追求

FFGは今後も、ブランドスローガンである『あなたのいちばんに。』を追求し、お客様へのサービス・利便性向上に努めてまいります。行員一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



大橋支店外観



福岡銀行大橋支店

住所	〒815-0033 福岡県福岡市南区大橋一丁目10番18号 (仮店舗移転前の旧店舗地)
TEL	092-551-2131 (移転前と変更ございません)
自動サービスコーナー	7:00~23:00(平日)、8:00~21:00(土日・祝日)
設備	全自動貸金庫、車椅子対応窓口、多目的トイレ等



店内

「食の祭典2017 in 福岡」を開催

平成29年1月27日(金)、ふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)は、福岡銀行本店ビル10階で「食の祭典2017 in 福岡」を開催しました。今回は、その様子をご紹介します。



▲商談風景

平成29年1月27日(金)、FFGは九州の13自治体(※)との共催・後援により、食品関連商談会「食の祭典2017 in 福岡」を開催しました。

本商談会は、地元食品関連製造企業の皆様に販路拡大の場をご提供することを目的に例年開催しているもので、第7回目となる今回の商談会では地元のこだわりやノウハウの詰まった食材を取り扱う142社の食品関連製造企業と、全国から招聘した43社のバイヤー等との個別商談を660件実施しました。

特に今回の商談会では、熊本地震の被災地復興支援につなげるべく、熊本県内からの参加企業の枠を例年以上に広げ、当日は熊本県内の食品関連製造企業46社にご参加いただきました。

参加された企業の担当者からは、「一流のバイヤーに目から鱗が落ちるようなアドバイスをいただいた」「他に類を

見ないような商談会で、FFGの本気度を感じた」といったお声を多くいただきました。

今後もFFGでは、お取引先のビジネスチャンス拡大に役立つ機会のご提供に努めてまいります。

(※)糸島市、嘉麻市、古賀市、筑後市、熊本県、宇城市、熊本市、合志市、水俣市、雲仙市、佐世保市、島原市、長崎市の13自治体



▲商談会場風景

ICT（情報通信技術）を活用したビジネスコンテスト 「X-Tech Innovation 2016」を開催

ふくおかフィナンシャルグループ（以下、FFG）では地方創生に向けた独自の取り組みの一環として、昨年度に引き続きICTを活用したビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2016」を開催しました（今回は北海道銀行との共同開催）。今回は、平成29年2月21日（火）に開催された九州地区での最終選考会（ピッチコンテスト）の様相についてご紹介します。



▲審査員、パネリスト、登壇企業、来場者全員による記念撮影



▲森川審査委員長による表彰式挨拶



▲柴戸社長による開催挨拶

九州・北海道でICTを活用した ビジネスアイデアを広く募集

FFGは、平成29年2月21日（火）、FFGホール（福岡市中央区天神）で、ICTを活用したビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2016」の九州地区最終選考会を開催しました。

本コンテストは、ICTを活用した新しいサービスやビジネスアイデアをスタートアップ企業から広く募集し、優れたアイデアを発掘・表彰するとともに、そのビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや、FFGおよび地元企業とのマッチング、既存ビジネスへの活用可能性を模索することで、地域経済の活性化につなげることを目指して開催しているもので、今回で第2回目の開催となりました。

特に今回は、北海道銀行との共同開催とすることで、地域を越えた新たなネットワークの

構築も目指しています。なお、地方銀行による共同開催型のビジネスコンテスト（ICT／IT関連）は国内初の取り組みです。

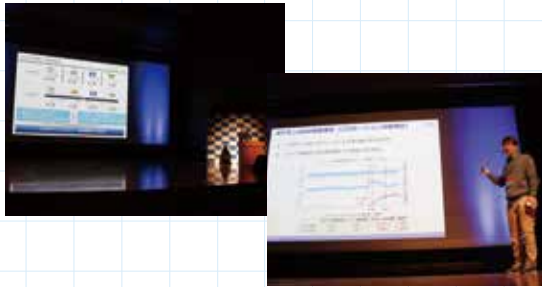
熱のこもったプレゼンテーションで ユニークなビジネスアイデアを発表

本コンテストへの九州地区での応募企業71社のうち、1次・2次選考を通過した12社が最終選考会に臨み、約250名の来場者を前に熱のこもったプレゼンテーションでユニークなビジネスアイデアを発表しました。

そして審査の結果、最優秀賞にはベンチャー企業の株式会社ギフトによる「eギフトから地域通貨までWebとリアルを結ぶ『ギフト』」（メールやLINEなどで気軽にギフトを贈れるサービス）が選ばれました。



▲パネルディスカッションの様子



▲登壇企業によるプレゼンテーションの様子



▲最優秀賞に輝いた株式会社ギフティの太田社長



▲「Diagonal Run Tokyo」の発表の様子

Diagonal Run Tokyo

〈オープニングサイト〉



〈施設レイアウト・機能イメージ〉



「X-Tech Innovation 2016」の九州地区最終選考会 登壇企業・サービス概要

	企業名	サービス概要
地方創生	〈特別賞〉 IPPON	複数言語(日本語、英語、中国語)に対応したGPS運動型ガイドサービス
	メクマ	様々なシェアリングエコノミーサービスを短期間・低コストで構築できるプラットフォームサービス
	おむすび	イベント情報を発信したい人と届けたい人を結ぶ情報掲示板アプリ(現在は鹿児島県のみで提供)
	CLIP	電子発行した複数のポイントカードを統合できるスマートカード「CLIP」を活用した地域経済活性化サービス
	タグフィット	撮影すると日本語情報が多言語翻訳されるQRコード
人工知能	アイリックコーポレーション	生命保険証券を撮影するだけで、保険証券分析シートを自動で作成するアプリ
	ウォークインサイト	街中に設置されたIoTセンサーがスマホのWi-Fi信号を収集することにより、人々の動向を分析するアプリ
	〈特別賞〉 ワイズ・リーディング	過去の膨大な文書をAIで自然言語解析しビッグデータとして活用することで、効率的な文書作成を支援するサービス
私を「i」するサービス	〈優秀賞〉 diffeasy	武道(空手・柔道・剣道)の大会運営(申込受付・トーナメント表作成・結果配信・賞状作成等)をサポートするWebサービス
	チーム匠(Takumi)	ランニングする人のリズム(歩調)に合わせて音楽を再生するアプリ
	〈最優秀賞〉 ギフティ	メールやLINEなどで気軽にギフトを贈れるサービス
	SMILABLE	「みんなでお金を出しあうこと=グループ払い(ソーシャルペイメント)」を簡単に利用できるサービス

九州・北海道の受賞者が集まる イベントを開催

最終選考会の中では、現在FFGが今年4月のグランドオープンを目指して準備を進めているオープンイノベーション共創拠点、「Diagonal Run Tokyo(ダイアゴナル ラントウキョウ、以下「DRT」)(東京・八重洲)についての発表も行いました。

DRTは、イノベーションの共創に必要な様々な機能を併せ持つ「場」を提供することで、地域と東京、地域と地域のヒト、企業(技術)、アイデア、

情報の交流と、新たな「仕組み(エコシステム)」を生み出すことで、地域経済の活性化へとつなげることを目指す活動拠点で、3月にはプレオープンイベントとして、本コンテストの九州・北海道での受賞者が集まり、それぞれのビジネスアイデアの披露や交流会が行われました。

FFGでは、「あなたのいちばんに。」の実現を目指し、今後も新たな技術やアイデアを積極的に取り入れながら、お客様の利便性向上に繋がるサービスのご提供を続けてまいります。